

# 広島豪雨災害をふりかえる

あの時何が？  
災害時に起ること

2014年8月20日の広島豪雨土砂災害からまもなく2年。

その後も各地で続く災害、さまざまな災害予測の情報…いつ誰がどこで被災するかわからない時代です。

だからこそ、災害をただ恐れるのではなく、災害によって何が私たち市民の身に起こるのかを知り、どうすれば、自らの命や大切なものを守ることができるのか？を考え備えることが必要です。

この研修会では、第1部：講演、第2部：座談会の2部で構成し、気象情報や被災者自身の体験談から学び、災害時に「私ならどうする」をともに考えます。

◇日時：2016年 **7月24日** (日)  
開演 10:00～15:00 (開場 9:30)

◇会場：安佐北区総合福祉センター6階  
**大会議室** (安佐北区可部三丁目 19-22)

◎定員：100名 (申込み不要)

◎資料代：500円

※第1部、第2部 どちらかのみ参加も可能です

※第1・2部を通してご参加の方は、各自で昼食をご準備ください。

## ～ プログラム ～

◇第1部 講演会 (10:00～12:00)

『災害を気象情報からふりかえる』

講師：弘中 秀治さん (一般社団法人日本気象予報士会理事)

◇第2部 座談会 (13:00～15:00)

『あの時、私たちの身に起きたこと』

登壇者：香川 和子さん (可部地区民生委員)

国松 浩司さん (NPO法人かべ工房村 理事長)

石田 浩巳さん (若者活動サポートセンターあおぞら副代表)

◎主催：若者活動サポートセンターあおぞら

◎共催：安佐北区地域起こし推進課

◎問い合わせ先：若者活動サポートセンターあおぞら (安佐北区可部 4-10-8. TEL:082-562-2451)